

会 議 録 要 旨

1. 会議名称	平成29年度第1回恵庭市公営企業経営審議会
2. 開催日時	平成29年7月11日(火) 午前10時00分～12時20分
3. 開催場所	恵庭市役所3階 第1委員会室
4. 出席者名	<p>【委員】 宇野 二郎 新名 孝信 菅原 伸治 林 和則</p> <p> 宮前 清 掃部 晃 野原 聡 神田 美佐子</p> <p> 戸花 小夜子 細川 俊夫 池田 愛莉 橋本 千津子</p> <p>【市側】 (市長) 原田 裕 (水道部長) 高畑 一秀</p> <p> (水道部次長) 佐藤 恵次 (経営管理課長) 山口 勝</p> <p> (同主査) 畑 拓哉 (同主査) 明石 雅恵</p> <p> (同スタッフ) 加藤あゆみ (同スタッフ) 多久島 彩</p> <p> (同スタッフ) 鈴木玖実子 (水道課長) 尾池 嘉治</p> <p> (同主査) 左川 俊之 (同主査) 朝日 明義</p> <p> (同主査) 松田 和宏 (同主査) 下田 宣明</p> <p> (下水道課長) 長谷 晃司 (同主査) 高野 隆司</p> <p> (同主査) 橋本 敦 (同主査) 渡辺 一雄</p> <p> (終末処理場長) 原田 次男 (同主査) 佐々木 重行</p>
5. 審議会の経過	<p>※以下は、事務局が発言の要旨を要約しており、いわゆるテープおこしをしたものではありません。</p> <p>(1) 開会</p> <p>(2) 委嘱状交付 初回の審議会の開催のため、市長より12名の委員へ委嘱状交付</p> <p>(3) 市長挨拶 市長から開会にあたり挨拶</p> <p>(4) 委員自己紹介</p> <p>(5) 事務局自己紹介</p> <p>(6) 会長の選任 委員の互選により、宇野二郎委員が会長へ選任、挨拶</p> <p>(7) 副会長の選任 委員の互選により、神田美佐子委員が副会長へ選任、挨拶</p> <p>(8) 諮問 ○「恵庭市下水道事業経営戦略の策定」について</p>

<p>(9) 報告事項</p>	<p>○水道事業概要について ※水道課主査より説明</p> <p>○下水道事業概要について ※下水道課主査より説明</p> <p>○地方公営企業について ※経営管理課主査より説明</p> <p>○上下水道事業の経営状況について ※経営管理課主査より説明</p>
<p>(10) 質問内容</p>	<p>【上下水道事業の経営状況について】</p> <p>(委員) 第2庁舎とは何のことか。 (説明員) 本庁舎の狭隘化に伴うスペース確保と水道庁舎のバリアフリー未対応に伴い、平成28年度に建設したものである。</p> <p>(委員) 下水道事業は25年度から公営企業会計を導入したとのことだが、今回の資料に25年以前の決算値等の資料がないため経営状況がわからない。次回までに揃えていただきたい。 (説明員) 今回は資料の都合上過去3年間の抜粋とさせていただいたが、次回までに詳細資料を用意する。</p> <p>(委員) 上下水道ともに管が老朽化してきているとのことだが、その管はどこに何km程度布設されているものか、耐用年数は過ぎているのか、何年経過しているのか、今までどこを更新しこれからどこを更新する必要があるのか、表などで示してほしい。 (説明員) 図面や耐用年数が経過しているものについて次回までに資料を用意する。</p> <p>(委員) 水道事業の経営状況について、29年度予算では、「漁川・千歳川の各水系の受水量のバランスを見直して受水費の圧縮を図っている」とあるが、28年度決算と比較しても1,000万円ほどしか減っておらず、26年度決算と比べて2倍に増えた金額はさほど変わっていないようだが、今後どのように受水量のバランスを見直して受水費の圧縮を図っていくのか。 27年度から漁川水系の料金単価が増額改定されたとあるが、なぜ、いくらほど変わったのか、今後の見通しはどうか伺いたい。 (説明員) 受水費については、千歳川水系からの受水を開始したことにより27年度からおよそ倍になっている。千歳川水系は施設ができたばかりなので基本料金も使用料金単価も高い。料金が高いから、ということだけで千歳川水系からの受水を減らしてしまうと、防災のために2系統化したものが1系統しか使えなくなってしまうので、ギリギリ2系統使えるようにしつつ、費用を抑えられるよう水量のバランスを図っていく。</p>

27年度に千歳川水系が稼働開始した時にはどれくらい稼働に費用がかかるかわからなかったため、推計で基本料金を決めていたが、2年間の実績値により、石狩東部水道企業団に料金の見直しをしていただいている。8月以降には案が大体固まると思うので、先の見通しもある程度ご報告できると思う。

(委員) 人材育成について何か行っていることがあればお伺いしたい。

(説明員) 人材育成については、水道協会、下水道協会、下水道事業団等の研修に積極的に参加し、最新の情報を得るなどしている。

(委員) それでも技術の継承に問題があるのか。

(説明員) 上下水道は土木の中でも特殊な領域であり、終末処理場の、維持管理の技術などは、経験的な要素が強い。
職場の中で少しずつでもマニュアル化し、新しい職員に継承できるようにしている。

(委員) そういう知識はマニュアル化できるものなのか。それとも職人的なもので、経験年数がないと身につかないようなものなのか。

(説明員) どうしても経験的なものは多いが、1人の職員が10年20年と同じ部署に在籍することは難しい。知識を持っている職員が後任の人にマニュアル的なものを作って継承していくことが、今までなかなか思うようにできていなかった部分もあるので、実際に作って継承していきたい。

○恵庭市下水道事業経営戦略策定の進め方について

※経営管理課長より説明

○「恵庭市公共下水道事業維持・整備方針」について

※下水道課長より説明

【質疑内容】

(委員) 維持・整備方針の目標年度はいつなのか、明らかにしておいたほうがわかりやすい。

(説明員) 経営戦略の資本的収支の計画を作るためにこの整備スケジュールを作成しており、経営戦略の策定期間が10年間なので、それに合わせて29年から38年で設定している。

(委員) 公共下水道事業計画、公共下水道維持・整備方針、下水道事業経営戦略は並列関係にあるのか、上下関係にあるのか。これから経営戦略を策定するにあたって、それぞれがどういう位置づけになっているのか整理し、明確にしたほうがよい。

(説明員) 基本的には経営戦略が一番上にくる。事業計画、維持・整備方針は経営戦略に基づいて策定していく。

(11) 議事

<p>(12) 今後のスケジュールについて</p> <p>(13) その他</p> <p>(14) 閉会</p>	<p>(委員) 浸水対策(雨水整備)にある「予算計上方針」の項目だが、これは毎年同じなのか、それとも29年度だけか。</p> <p>(説明員) 道路整備にいつどのくらい工事費がかかるのか現段階ではわからないため、毎年継続的に計上していく考えである。</p> <p>(委員) 水洗化貸付制度で、27年、28年の実績が0件なのは残念。この貸付上限の45万というのは、個人が排水設備を設置するにあたって必要な費用のどれくらいをカバーできるものなのか。</p> <p>(説明員) 個人で水洗化すると大体60万程度かかる。</p> <p>(委員) 下水道は管の種類は全て同じなのか。</p> <p>(説明員) ヒューム管と塩ビ管がある。</p> <p>(委員) 資料の中に、54.5mm/hの降雨量で道路が冠水している写真があるが、これくらい降ると恵庭市全域がこのような状態になってしまうのか。</p> <p>(説明員) 恵庭市の下水道の計画では、34mm/hで限界。それ以上降ると写真のような状況になってしまうことが想定される。</p> <p>54.5mmの時は島松寿町地区だが、ここは河川が整備されていないことに伴い下水道計画と異なった方法で布設を行っている箇所があり、多少の雨でも溢れてくる。今後島松地区については下水道計画に則った整備を進める。</p> <p>(委員) 島松以外はどうか。</p> <p>(説明員) 雨水については、合流地区は全て処理場まで届くが、他の地区では川に直接接続しており、整備を進めてきている。島松地区はルルマップ川に接続しているが、川自体が未整備のため、雨水を全量排水することができないのが現状。</p> <p>※経営管理課長より説明</p> <p>○報酬と旅費の支払について ※経営管理課長より説明</p> <p>終了時間 12:20</p>
--	---